

新校名 家庭にアンケート

倉吉市教委方針 明倫・成徳小統合

統合に伴う新校名が三転した倉吉市立成徳小学校のさらなる新校名の決定に向け、市教育委員会は9日、将来的に統合に加わる方針が決まっている明倫小と成徳小の全児童・家庭に、2学期中にもアンケートを実施した上で校名候補を決める方針を明らかにした。この日の市議会議員懇談会で市教委が説明した。

現成徳小は、旧成徳小と旧灘手小が4月に統合して誕生。公募を踏まえた新校名候補が「至誠」「打吹至誠」と変更したあげく、最終的に市議会が「成徳」と決定し、市民から区券を受けていた。市は現校名の「成徳」は暫定とし、今年度中に新校名を決定する考えを示している。

この日の市教委の説明によると、①成徳、灘手、明倫の名は使用しない②昨年度公募した中で応募数の多

かった「打吹」「うつぶき」「倉吉」「中央」「倉吉第一」「東」の6候補を示し、成徳・明倫両小への児童・家庭アンケートで選んでもらう③来年4月1日から新校名を適用する――の3方針を7月に決め、地区代表やPTA役員らに対し説明してきたという。しかし、PTA側「6候補は成徳と灘手合時のイメージが強い。候補は出せないか」との意見が出たため、委はアンケートで選ばれる校名候補を今後、討するといふ。小椋博幸校長は取材に「再度方針を検討した上で、アンケートでもらう④来年4月1日から新校名を適用する――」と述べた。12月市に校名の議案を提案方針という。(奥平

「成徳小」正式名に

児童、保護者最多案で諮問

倉吉市教委から
倉吉市教委から

倉吉市の成徳、灘手両小学校を統合した小学校の名称が暫定的に「成徳」となっていることについて、市教委事務局は9日、来年度から正式な校名とする方針を示した。公募で応募数の多かった6案で児童と保護者にアンケートを行い、最も支持を集めた名称を市教委に諮問する。

この日開かれた市議会議員懇談会で報告した。7月に成徳小児童を対象に実施した統合後の様子を尋ねる2回目のアンケート結果を受け、市教委は児童らが落ち着いていると判断した。正式校名は昨年の公募で応募多数の打吹▽うつぶき▽倉吉▽中央▽倉吉第一▽東の6案が軸で、統合対象の「成徳」「灘手」と

今後統合が予定される「明倫」は使用しない。来年度からの適用に向け、12月議会での条例改正を目指す。

2学期以降に両校保護者に方針を説明し、秋ごろをめどに両校児童のいる世帯に1票ずつ割り振るアンケートを実施。最も支持を集めた名称を正式な校名として市教委に諮る。児童や保

護者中心の選定方法となることについて、7月中旬に該当3地区の住民代表やPTA役員に説明し、了承を得た。

ただ、保護者からは「新しい校名案を出せないの示唆した。(井田慎一)

か」との意見があり、小椋博幸教育長は「話の行方次第にもよるが、6案にこだわる必要はない」と述べ、アンケート前に保護者から校名案を公募する可能性も示唆した。

二十世紀梨風味メロンパン

目まで販売 シヤリシヤリの食



県産二十世紀梨のシヤムを使ったメロンパン

これから旬を迎える味覚、県産の二十世紀梨を使ったメロンパンが、中西園と兵庫エリアのパートで発売された。地産の商品開発に取組むックスバリエ西日本(市)や四国シキヤマ(愛媛県)、アジ・ロリング(同)などが共同開発した。

二十世紀梨のシヤム

13版S 2023年(令和5年)8月10日(木)

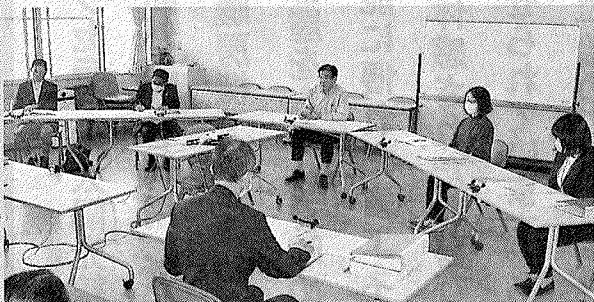
打吹 うつぶき 東 光星 つばき

成徳小新校名5案に

統合後の校名をめぐり二転三転した倉吉市立成徳小学校の新校名について、倉吉市教育委員会は18日の臨時会で、校名候補を「打吹」「うつぶき」「東」「光星」「つばき」の5案に絞った。市教委は今月いっばい、地域の児童と未就学児がいる家庭に投票を呼びかけ、最多の案を最終候補とする方針だ。

現成徳小は、今年4月に旧灘手小と旧成徳小が統合し誕生した。校名を決める際、いったん「至誠」に決まったが、反発する住民らが直接請求し白紙に。続いて「打吹至誠」としたものの、

の、市議会はこれを認めず、旧校名「成徳」を新校



新校名案5案を決定した倉吉市教育委員会

名とした。

しかし、これにも反発が強かったため、市は将来的に統合予定の明倫小も合わせ、成徳、灘手、明倫3地区の児童・未就学児の家庭約350世帯を対象に、9、10月にアンケートを実施。18日に結果が示された。有効応募数は119件、計18案。「打吹」56件、「うつぶき」24件、「東」12件、「倉吉」10件、「中央」4件などだった。

5人の教育委員で協議した結果、上位3案は候補として残すことで合意。「光星」「つばき」は応募が1件だけだったが、光星は応募者の「明るく学校生活を送るといふ思い」、つばきは「倉吉市の木で、校章にも使われている」点が評価され、候補に残った。市教委は、5候補の中で最も多かったものを新校名候補とし、12月定例市議会に提案する方針。(奥平真也)

新校名5案に絞る

倉吉の統合小、月内投票

倉吉市の成徳、灘手両小学校を統合した小学校校名が「東」「光星」「つばき」に暫定的に「成徳小」となっていることについて、市教委は18日に臨時会を開き、

成徳小新校名募集アンケート結果

校名案	応募数
打吹	56
うつぶき	24
東	12
光星(こうせい)	1
つばき	1

市教委は9月29日、10月12日、成徳小と統合予定の明倫小校区の在校生や未就学児のいる計349世帯を対象に、昨年の公募で多数を占めた6案から一つを選ぶか、新校名案を提案するアンケートを実施した。

この日、アンケートで寄せられた18案を基に委員らが協議。有効応募件数119件中、応募数上位の「打吹」「うつぶき」「東」と、新校名案から、成徳小の校章の「つばき」、明るい学

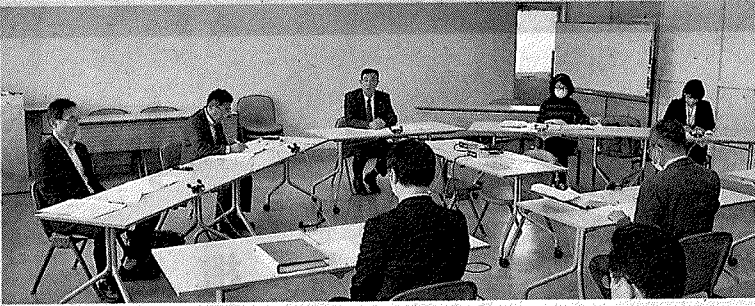
な受診や運動など健康指導の機会としてサービスの幅を広げていく考えで、谷口医師は「早め処置すること患者のリスク軽減にもつながる。定期的に受診してもらい、気軽に相談できる場があれば」と期待を込めた。(川口耕)

市教委は今年30日まで、今回対象となった世帯に1票ずつを割り振る投票を実施。最多得票の案を市学校教育審議会に諮問し、答申を経て市議会12月定例会で学校設置条例の一部改正を目指す。投票結果が同数だった場合は、同数案による再投票を行う。(井田慎一)

新校名案「打吹」に

倉吉・成徳小市教委が決定

統合後の校名を巡り二転三転した倉吉市立成徳小学校の新校名案について、倉吉市教委は6日、保護者家庭に呼びかけた投票で最多だった「打吹」案に決定した。今後、市学校教育審議会への諮問・審議を経て、12月定例市議会に提案される。「至誠」「打吹至誠」「成徳」と変遷した校名は、結局、昨年の公募でも多かった地元の山の名前で決着しそうだ。



新校名案を「打吹」と決定した倉吉市教育委員会。倉吉市東町

市教委は10月中旬、地域の児童の家庭や未就学児がいる家庭を対象に行ったアンケートをふまえて「打吹」「うつぶき」「東」「光星」「つばき」の5案に絞り、先月末まで投票を募った。

結果は「打吹」105、「うつぶき」29、「東」23、「光星」13、「つばき」13。対象家庭数349に対し有効投票数は183(52・4%)で、「打吹」が有効投票の57・4%を占めた。小椋博幸教育長を含む5人の教育委員から異論は出ず、「打吹」案に決まった。

「打吹」は市中心部にある「打吹山」「打吹公園」などで倉吉市民に親しまれており、昨年の校名公募の際も、341件中「打吹」と「うつぶき」で150件を集めていた。

現成徳小は今年4月に旧成徳、旧灘手の2校が統合して誕生した。市教委は旧成徳、旧灘手、現「明倫」の3小学校を将来的に統合する方針で、成徳と灘手を先行して統合した。

校名は昨年6月、成徳・灘手両地区の住民代表や保護者でつくる学校統合準備委員会が「至誠」と決めた。しかし、反発する住民グループが署名を集め、校名を定めた条例の廃止を市に直接請求。市議会は昨年12月、いったん成立した「至誠小」名の廃止を可決した。

ところが、再協議した統

合準備委員は、「打吹」と一度決めた「至誠」を合体させた「打吹至誠」を提案。これにも反発の声が大きくなり、今年1月、市議会はこ

れも認めず一方の校名「成徳」と決めた。だが今度は灘手地区の保護者らの反発が強く、亘田一恭市長は保護者らに改めて名前を募る

方針を明らかにしてきた。市議会が「打吹」を認めれば、成徳小は来年4月1日から校名が変わる。(奥平真也)

と東洋なる内 島根・八



画家の小泉清(1899~1962)の作品と生涯を紹介する企画展「小泉清とその生涯とコレクション」が、小泉八雲記念館(松江市奥谷町)で開かれている。作品約20点のほか、書簡、絵の具箱などを展示している。来年6月1日まで。

小泉清は文豪

最終案「打吹」に

倉吉統合小校名、市教委が決定

学校設置条例の一部改正を目指す。

市教委は10月19~30日、成徳小と統合予定の明倫小の在校生や未就学児のいる計349世帯を対象に、アンケートで絞り込んだ5案による投票を実施。臨時会で投票結果が示され、有効投票数183票のうち「打吹」が過半数を超える105票を集めた。

当初の方針どおり、最多得票を正式な校名案とすることに異論は出ず「打吹」とすることを決定。閉会後、小椋博幸教育長が校名を「打吹」に変更する旨を記載した諮問書を同審議会の山下千之会長に手渡した。

同審議会は、21日に協議して市教委へ答申。市教委は22日開会の定例会で校名案を正式決定し、12月4日開会の市議会定例会で条例の一部改正案を提案する。

小椋教育長は「なじみのあ

るいい名前。賛同をいただけるよう、引き続き努力したい」と述べた。(井田慎二)

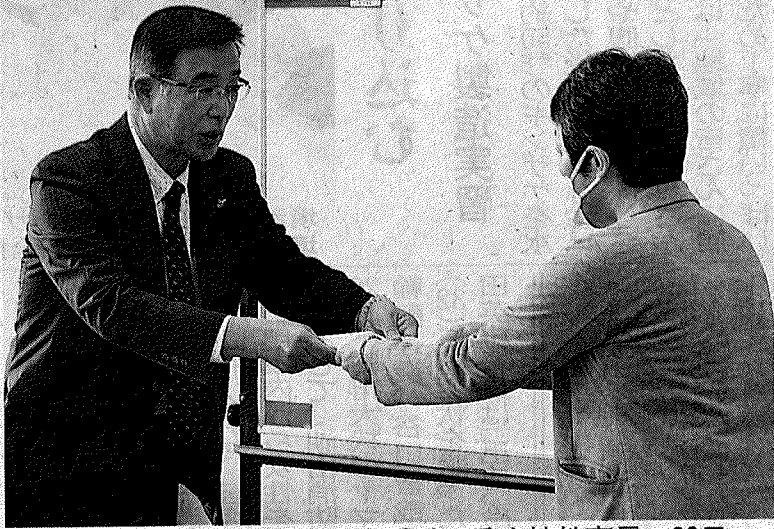
成徳小新校名候補案投票結果	
実施期間: 10月19日~30日	
校名案	得票数
1 打吹	105
2 うつぶき	29
3 東	23
4 光星(こうせい)	13
4 つばき	13
無効票	7
投票総数	190
対象世帯数	349

るいい名前。賛同をいただけるよう、引き続き努力したい」と述べた。(井田慎二)

正式校名「打吹」に決定

倉吉市教委 12月定例会に上程

倉吉市教委は22日に定例会を開き、成徳、灘手両小学校を統合した小学校校名が「打吹」に決めた。この日、暫定的に「成徳」となって



山下会長(右)から答申書を受け取る小椋教育長=22日、倉吉市役所北庁舎

申を受けて改めて審議し、承認した。同校の新しい校名に関しては紆余曲折を経て、12月の市議会定例会で再び諮られる。

開会に先立ち、同審議会の山下千之会長が校名変更を「適当」とする答申書を小椋博幸教育長に手渡し、円滑に統合が完了するよう要請した。

委員からは「地域の声が一番多い」など新校名は妥当とする意見が相次ぎ、全会一致で「打吹」への変更を決定。市教委は今後、12月4日開会の市議会定例会に条例改正案を上程する。小椋教育長は「打吹山は倉吉のシンボル。新校名にふさわしい」と述べ、議会の了承を得られるよう説明を

の整備を盛り込んだ。

平井知事は各要望に対し「どういった制度やフォロワーがいいのか検討したい」などと丁寧に回答。足並みをそろえて課題解決に向かう姿勢を前面に出した。

(福合一月)

打吹小に校名変更へ 条例改正案提案へ

倉吉市が18議案発表

倉吉市は28日、12月4日開会の市議会12月定例会に提案する18議案を発表し

た。成徳、灘手両小学校を統合した学校名を来年度から変更する条例改正案や、2億6404万円を追加する本年度一般会計補正予算案を盛り込んだ。

条例改正案は、小中学校設置条例の一部を改正し、暫定的な校名となっている「成徳小」を、来年度から正式校名として「打吹小」に変更する内容。15日の厚生文教常任委での審議を経て、20日の最終日に本会議で採決される見通し。

同予算案の補正後の総額

は344億4305万円。

主な補正は、台風7号で被災した農地や農業施設などの復旧1億4095万円▽市営余戸谷町住宅建替工事現場に新たな工事車両進入路を整備するための事前調査費535万円▽携帯電話不感地区世帯を対象にした小型基地局設置経費の一部負担14万円など。

(井田慎一)

◆鳥取市、補正予算案など59議案発表

鳥取市は28日、12月5日開会の市議会12月定例会に提案する総額51億6761万円の本年度一般会計補正

尽くすとした。

市教委は9、10月、成徳小と統合予定の明倫小の児童や校区内の未就学児のいる世帯を対象にアンケートを実施。最も多く支持を集めた「打吹」を校名候補案とし、同審議会に諮問していた。

(井田慎一)

私の視点

倉吉市教育委員会が、暫定的に「成徳」となっている校名の最終案を「打吹」とし、12月市議会での正式決定を目指すという。民意

民意がようやく実現する

深田 哲士（倉吉市駄経寺町、76歳）

に沿った校名を望んできた市民として、大変喜ばしいことである。

思えば昨年6月、統合準備委員会が150人の多数意見を採用せず、わずか1人の意見を採用してから1年以上。あの時市民の行政に対する不信任は全市に及び、条例廃止を求める住民直接請求の署

名は瞬く間に5千件近くに達した。その結果、先の条例は廃止され市教委に差し戻された。

だが、やっと民意が実現すると思っただけの間、今度は思慮の浅い折衷案（打吹至誠）が上程された。議会はこれを是とせず、暫定的な校名（成徳）を議決した。

そしてこのたびの最終案（打吹）である。

それにしても、最終案決定時の教育長のコメントには驚きを通り越してあきれられるばかりであった。いわく「なじみのあるいい名前。賛同をいただけるよう、引き続き努力したい」。ことの発端から全

ての会議に出席し、民意に沿わない教育行政を引っぱり続けた責任者の言葉とは到底思えない。

教育長が初めから「打吹」を「なじみのあるいい言葉」だと考えていたなら、そもそもこの問題は起こらず、この4月からなじみのあ

るいい校名の小学校がスタートしていたはずである。教育長は誰に「賛同をいただけるよう努力する」のだろうか？ 賛同していなかったのは誰なのか？ 市民は初めから賛同していたのに。

12月市議会では、まさかこの民意に反対する議員はおられないとは思つが、全会一致での採択を強く希望する。そして来年、打吹公園の桜が咲く頃、「打吹小学校」としての再出発を全市民でお祝いしたいものである。